

## DG-13 インドネシアデジタルガバナメント戦略 1月

### 1. 背景

インドネシアの経済発展の加速と拡大は、インドネシアの人口統計学的可能性、豊富な天然資源、地理的な優位性によって支えられている。

1) インドネシアは ASEAN 最大の経済国で、ASEAN の総 GDP の 3 分の 1 を占めている。インドネシアは国内の個人消費ベースが大きく、加えて、国内投資や政府支出がインドネシアの継続的成長の主な牽引役となっており、2017 年のインドネシア銀行による推定では 5.05%となっている。

#### 2) 人口構成

インドネシアは世界で 4 番目に人口の多い国(2 億5700万人)であり、ASEANの総人口 6 億人の 42%を占めている。この膨大な人口の購買力の急増が、重要な市場を生み出している。さらに、人口はその人的資源の質も向上しており、望ましい競争力を提供している。国は今、人口生産年齢の構造の移行期を経験している。2020 年から 2030 年の間に、依存度指数(補助金など、連邦政府への依存度を示す)が最も低くなる。この状況の重要な意味は、雇用創出の重要性が増していることである。さらに重要なことに、一般教育が継続的に改善されれば、インドネシアの経済生産性は指数関数的な成長を経験することになる。現在は24歳以下の人口が 43.3%で向こう 10 年は人口ボーナスの最大期である。

#### 3) 天然資源

インドネシアには、再生可能(農産物)と再生不可能(鉱業および鉱物)の両方の豊富な天然資源がある。それは高付加価値を提供する加工産業を増やすことによってその天然資源を最適化し、原料の輸出を減らす。インドネシアは、世界最大のパーム油の生産国であり輸出国である。ココアとスズの世界第 2 位の生産国である。ニッケルとボーキサイトは世界の埋蔵量の 4 番目と 7 番目である。インドネシアはまた、鉄鋼、銅、ゴム、漁業の最大の生産国である。インドネシアには、繊維、造船所、運輸、食品、飲料などのインドネシアの主要産業を支える石炭、地熱エネルギー、水の膨大な埋蔵量がある。

#### 4) 地理上の位置

インドネシアは世界最大の群島(1 万 7500 島)で、東から西へ 5,200 キロメートル、幅は 1870 キロメートルである。世界で最も経済的に活気のあるシーレーンの 1 つに位置しているため、世界最大の市場と直接つながっている世界的なコンテナ輸送の最優先ルートであるマラッカ海峡がある。インドネシアは、世界で最も成長が著しい 2 大経済国であるインドと中国から 5 時間以内の移動距離である。

### 2. ビジョン 1

#### 2025 年に世界の先進国になる

### 3. 戦略目的 1

開発計画は長期開発計画(2005-2025):法律 2007 年 No.17、中期計画(2015-2019):大統領令 No.2、インドネシアの経済発展の加速と拡大のためのマスタープラン (MP3EI)(2011-2025)の戦略目的を策定している。

#### 1) 長期開発計画

計画と効率の理由から、それぞれ 5 年間の 4 段階に分けられている。これら 4 つの段階は、新し

い中央政府の任期と並行して実行される。2025 年まで続く、この開発計画は、4 つの中期開発計画に分割され、MP3EI の支援を受ける。主に公共施設の建設が中心である。

## 2) 中期開発計画

中期開発計画は 4 つの段階からなっている。これらの中期開発計画の政策が長期開発計画と一致していることを条件として、別々の政府が国家経済発展の過程において彼ら自身の優先順位を設定することができる。現在の第 3 段階中期開発計画(2015-2019)は、長期開発計画(RPJP)の実施の第 3 段階である。それが、すべての省庁および政府機関がそれぞれの戦略計画を策定するための基礎となる。地方自治体は、地域開発政策を策定する際に、この計画を考慮に入れる必要がある。

## 3) インドネシアの経済発展の加速と拡大のためのマスタープラン(MP3EI)

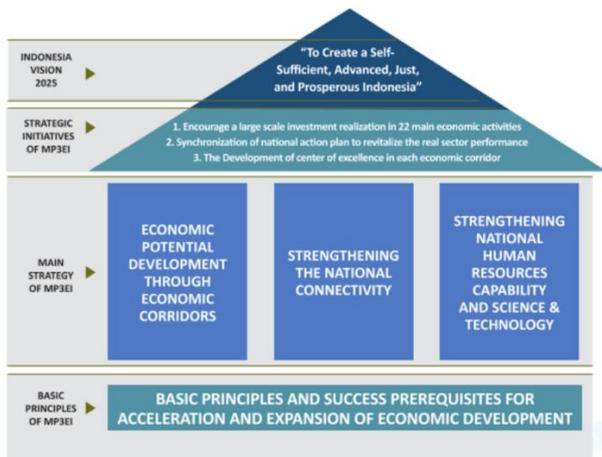


図 1 MP3EI 戦略

MP3EI は、中期開発計画がインドネシアの経済発展を加速し拡大するのを支援するために、2011 年に実施された。[MP3EI](#) を利用することにより、インドネシアは 2025 年までに世界の先進国の 1 つとしての地位を獲得することを目指し、1 人当たりの所得は 14,250ドル(約 143 万円)から 15,500ドル(約 155 万円)、国内総生産は 4.0 兆ドル(約 400 兆円)から 4.5 兆ドル(約 450 兆円)となることを目指す。

### 4. 戦略目標 1

次の3つの戦略目標を掲げている。①経済回廊を通じた経済力開発(海外投資も考慮した)②国家の接続性の強化(陸、海、空の統合的な公共工事)③人材能力及び科学技術の強化。

[MP3EI](#) は 22 の主要な経済活動から成る 8 つのプログラムを含む。MP3EI における戦略目標は以下の 3 点に纏められている。(1) 6 つの経済回廊に沿った地域の経済的ポテンシャルの開発 (2) 国内及び国外との連結性強化 (3) 経済回廊における開発プログラムを支援する人材や科学技術の強化

### 5. 実施計画 1

MP3EI では、①スマトラ経済回廊(天然資源の生産)、②ジャワ経済回廊(国内産業)、③カリマンタン経済回廊(鉱山、エネルギー)、④スラウェシ経済回廊(農業、漁業、石油・ガス)、⑤バリ-ヌサ-テンガラ経済回廊(観光)、⑥パプア-マルク群島経済回廊(食料、漁業、エネルギー、鉱山)、6 つの経済回廊に必要な投資を行う。



図2 6つの経済回廊

出典:MP3EIに関するジェトロ・ジャカルタ事務所資料(2011)

MP3EI は 8 つのプログラム(天然ガス、石炭、地熱、[パーム油](#)、[ココア](#)、すず、ニッケル、ボーキサイト)を指定している。そして、この 8 つのプログラムを含む計 [22 の主要な経済活動や戦略地域の開発](#)(ICT、石炭、[ゴム](#)、パームオイル、スンダ海峡戦略地域など)から構成されている。

2014 年 10 月に発足した Joko Widodo 政権は、戦略を共有しているが、もはや MP3EI という用語を使用していない。

## 6. ビジョン 2

2030 年に世界の 10 大経済国になる。

## 7. 戦略目的 2

第 4 産業革命を Making Indonesia 4.0 で実施する。

(著者注:2018 年 4 月に Joko Widodo 大統領が発表した。長期開発計画は第 3 段階中期開発計画(2015-2019)が実施中なので、Makin Indonesia 4.0 は何時から開始されるのか、長期開発計画、MP3EI とどのように調整するのか不明である。2018 年は重要な年であったと発表している。十分に実施計画は検討されたのであろう。2000 年代以降、GDP に対する製造業のシェアが縮小傾向にあるので、製造業を Making Indonesia 4.0 で再活性化し、2030 年にビジョン 2 を達成する方針であろう)

## 8.戦略目標 2

1) 総輸出の 10%を製造業で達成する。(2000 年のレベルに回復する)

[工業省](#)(kemenperin)

輸出への貢献の大きい順に、5 つの製造業セクター、食品飲料産業、繊維産業、自動車産業、化学産業、電子産業の産業構造の基盤を 4IR で強化する。

2)コストに対する生産性を 2 倍にする。(改善スピードをインド並みにする)

[産業省](#)

8. Making Indonesia 4.0 は、生産プロセスだけでなく業界のバリューチェーン全体でも、デジタルベースの新しいビジネスモデルを生み出し、高い効率と品質を実現する。その開発をサポートする 5 つの主要技術はモノのインターネット、人工知能、ヒューマン - マシンインターフェース、ロボットおよびセンサー技術、そして 3D プリンティング技術である。世界GDPランクは 27 位(2000 年)、25 位(2005 年)、18 位(2010 年)、16 位(2015 年)と上昇したにもかかわらず、ビジョン 2 を達成するには

体系的に実行する必要がある、競争するための明確な戦略が必要である。

3)研究開発費の 2%を投入する。(地方自治体のイノベーション能力を中国並みに構築する)

(1) **工業省** (kemenperin)

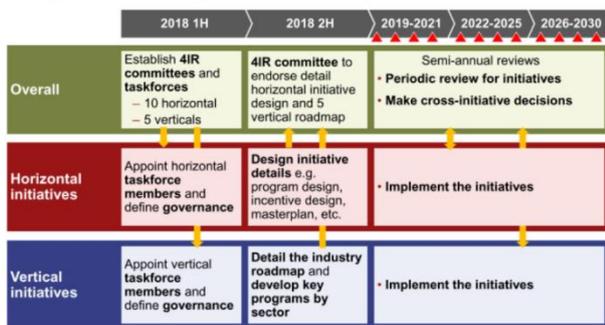
**工業省** (kemenperin) が教育と産業の間のリンクとマッチのプログラムを通して人的資源の能力を高める。**工業省** (kemenperin) はこのプログラムを政府国家開発計画庁 (Bappenas)、国営企業省 (BUMN)、人的資源省 (DEPNAKER)、教育文化省 (Depdikbud)、研究技術省 (RISTEK)、高等教育省 (RISTEKDIKTI) と協働して行う。

(2) **産業省**

中小産業 (IKM) のために IKM e-Smart プログラムを開始した。これはインターネットマーケティングを通して中小産業 (IKM) が市場アクセスをさらに増やすために使用される。

2018 will be a critical year for "Making Indonesia 4.0" implementation

"Making Indonesia 4.0" implementation roadmap



9. 実施計画

産業省を中心に 2018 年は以下の作業を実施する。

1) 総会は 4IR 委員会と 10 の水平統合と 5 の垂直統合の作業グループを設立し、承認する。

2) **水平統合** 作業グループは 4IR を実施する物流改革、産業地域の再設計、環境維持、中小企業強化、国家デジタルインフラ構築、海外投資誘

図 3 実施計画

致、人材教育、イノベーションエコシ

ステム構築、イノベーション奨励、10 の国家プロジェクトの横断プログラム、マスタープランなどを作成する。

3) **垂直統合** 作業グループは 4IR を実施する 5 つの製造産業分野の企画レベル、運営レベル、生産レベル、制御レベル、現場レベルでの戦略目的ロードマップと 4IR の垂直統合戦略と早期成果獲得プログラムを作成する